

ニーズ・シーズ俯瞰図の作成方針（案）

○ニーズ・シーズ調査等の全体フロー（概要）	1
○俯瞰図の作成について（目的・内容）	2
○ご意見いただきたいこと	3



令和8年8月
内閣府防災担当

ニーズ・シーズ調査等の全体フロー（概要）



対応方針 1

○現場の防災ニーズと、防災分野以外を含む技術シーズから、技術開発の求められるテーマを特定・提示（※研究テーマの実装の難易度は様々）

調査事業



防災現場（自治体、民間事業者、住民団体等）での**新技術ニーズ**を調査・整理

例：被災者戸別訪問の効率化

産官学における**新技術シーズ**を、防災分野および他分野を対象に調査、整理（技術カタログ）



例：ドローンポート

CSTIや各省庁での調査結果も収集

CSTIや各省庁での開発状況も省庁横断的に整理

ニーズおよびシーズを分類（災害フェーズ、用途分類、利用者等）し、俯瞰マップへ全体整理



ニーズおよびシーズを比較し、技術開発の必要性の高い研究テーマを抽出

対応方針 2

○各研究テーマを類型化（技術シーズの完成度等）。類型別に、効果的な促進事業を実施（基礎研究促進、実装支援、直接開発実施、民間開発促進）

施策

各研究テーマの特性を分析し類型化

各研究テーマの類型毎に、効果的な促進施策をそれぞれ実施

基礎研究促進型

・ニーズは強いが、シーズが未発達で基礎研究が必要

CSTIのSIP予算等で研究開始
（例：次期SIP防災のテーマに設定）
※防災庁では、開発ニーズを提示

実装支援（分野横断開発）型

・他分野シーズから他省庁等の防災ニーズへ機能拡張
・特定防災シーズを、他省庁の防災ニーズへ汎用化

防災庁の推進費により、
各省庁での開発を推進

実装支援（個別分野）型

・個別分野でのニーズとシーズがあり、研究継続が必要

各省庁の研究予算で、開発を継続
※防災庁では、開発ニーズを提示

民間開発促進型

・他分野市場にシーズはあり、防災市場への誘導が必要

防災庁は、製品への**要求仕様**等を策定・提示するなど、情報提供

直接開発実施型

・ニーズに対応できるシーズがあり社会実装が可能

各省庁の事業予算で開発し実装
CSTIのBRIDGE予算等で実装促進
（民間投資の誘発や市場開拓を重視）

アウトカム インパクト 施策に
フィードバック

新技術の創出・普及

社会の防災力向上

施策の改善を検討
・ニーズ/シーズ調査方法
・テーマ設定の方法
・推進施策の手法 等

評価事業

開発動向を調査し
施策の効果を評価

次年度以降

○経年的にニーズ・シーズの状況を調査・整理し、研究テーマと類型、適用する促進事業等を更新。また事業評価（普及、防災力向上等）を行い、施策を改善



- ニーズ・シーズ調査においては、多様な研究課題や民間製品・サービスを対象に、多数の調査項目（例：災害フェーズ、想定ユーザ、業務用途分類、技術分類等）を整理した。詳細な調査結果は、一覧表の形態でとりまとめた（参考資料4）。
- 調査結果について、詳細な一覧表の形態のほかに、全体的な傾向（例：研究等の多い領域など）を見やすく概観できる、俯瞰図の形態でも整理する方針。
- 俯瞰図を、次の2つの形態（案）で試作した。
 - ① **ニーズ・シーズ俯瞰図（案）**
 - ニーズをプロット（業務用途分類×災害フェーズ）した上に、関連するシーズ事例を配置。
 - ニーズとシーズの対応の全体像を認識
 - ニーズに対する、シーズの不足を把握
 - 開発促進が求められるニーズを抽出。
 - 例）○○領域のニーズに対して、現時点で研究事例が少ない

※ニーズの重要性等については、今後に調査予定（資料1-3参照）
 - ② **シーズ俯瞰図（案）**
 - シーズをプロット（技術分類×技術成熟度）。
 - 開発促進の求められるニーズに対応する
 - シーズを分類・成熟度毎に整理し、適切な促進施策等の参考に。
 - 例）●●に分類されるシーズは成熟度が低い事例が多く、長期の研究促進施策が有用。



- 「ニーズ・シーズ俯瞰図」、「シーズ俯瞰図」の作成イメージについて
 - 軸の設定
 - ニーズ、シーズ等の布置
 - その他のプロット・表現方法 等

- 開発促進の求められる技術テーマの抽出イメージについて